

平成27年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年10月10日

上場取引所 福

上場会社名 株式会社 エムビーエス
 コード番号 1401 URL <http://www.homemakeup.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 貴士
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 栗山 征樹
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月10日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 0836-37-6585

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年5月期第1四半期の業績(平成26年6月1日～平成26年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年5月期第1四半期	349	△3.8	22	511.9	25	272.0	41	—
26年5月期第1四半期	363	35.0	3	—	6	461.7	3	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年5月期第1四半期	69.16	—
26年5月期第1四半期	5.82	5.79

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
27年5月期第1四半期	1,765	—	747	—	42.4	—	1,236.07	
26年5月期	1,806	—	700	—	38.8	—	1,158.21	

(参考)自己資本 27年5月期第1四半期 747百万円 26年5月期 700百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年5月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年5月期	—	—	—	—	—
27年5月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年5月期の業績予想(平成26年6月1日～平成27年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	877	9.8	44	△35.3	52	△31.6	32	△28.9	53.09
通期	1,885	10.1	107	△29.1	131	△21.1	82	△19.6	133.60

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年5月期1Q	619,500 株	26年5月期	619,500 株
② 期末自己株式数	27年5月期1Q	14,400 株	26年5月期	14,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年5月期1Q	605,100 株	26年5月期1Q	608,100 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や財政政策を背景に円安・株高が進み、企業収益の改善や企業の設備投資等の回復が見られ、景気は緩やかな回復基調にあるものの、一方で円安による原材料・原油価格の上昇、海外経済の下振れによる影響等により、国内経済は依然として先行き不透明な状況が続いております。

建設業界におきましても、公共投資は堅調に推移し、民間設備投資も一部では持ち直す動きが見られたものの、労務費を中心とした建設コストの高騰が工事収益を圧迫し、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社は新たに平成26年4月に周南支店、平成26年8月に西東京支店を設置するとともに、既存店におけるパートナー（工務店等）との関係強化に取り組み、受注拡大を図って参りました。また、原価低減と経費削減、工事採算性を重視した受注方針の徹底、施工管理と品質・技術の向上に努めるとともに、人材育成を積極的に行い、業容拡大や収益力の向上等も図って参りました。

これらにより、当第1四半期累計期間における売上高は、349,797千円（前年同期比3.8%減）となりましたが、営業利益は、利益率の向上に努め、22,592千円（前年同期比511.9%増）となりました。経常利益は、売電収入8,468千円、外国社債に関する有価証券利息3,802千円、減価償却費5,376千円、貸倒引当金繰入額3,245千円、売電費用1,201千円の計上等により25,872千円（前年同期比272.0%増）となり、四半期純利益は、不動産売買契約に関する違約金収入の特別利益43,200千円及び法人税等の計上等により41,848千円（前年同期比1,083.5%増）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

(ホームメイキャップ事業)

ホームメイキャップ事業におきましては、ホームメイキャップ工法による内外装リフォーム工事等の受注減少があったものの、利益率の向上に努めたことにより売上高は291,856千円（前年同期比10.0%減）、セグメント利益は44,860千円（前年同期比43.2%増）となりました。

(建築工事業)

建築工事業におきましては、新築及び改修工事等の増加により売上高は57,838千円（前年同期比49.3%増）、セグメント利益は7,902千円（前年同期比179.5%増）となりました。

(不動産事業)

不動産事業におきましては、当第1四半期累計期間において不動産売買取引や不動産仲介取引等が発生しなかったため、売上高及びセグメント利益の計上はありませんでした。

(その他)

F C加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等で構成されるその他の事業におきましては、材料販売等の減少により売上高は102千円（前年同期比83.8%減）、セグメント損失は39千円（前年同期はセグメント利益168千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における資産の部は、前事業年度末に比べ40,391千円減少し、1,765,933千円となりました。これは主に、完成工事未収入金の16,360千円の増加、投資有価証券の8,148千円の増加、現金及び預金の58,107千円の減少等によるものであります。

負債の部は、前事業年度末に比べ87,503千円減少し、1,017,986千円となりました。これは主に、長期借入金の168,920千円の増加、短期借入金155,000千円の減少、工事未払金の59,326千円の減少、買掛金の10,426千円の減少等によるものであります。

純資産の部は、前事業年度末に比べ47,112千円増加し、747,947千円となりました。これは主に、利益剰余金41,848千円の増加によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年7月11日に発表いたしました平成27年5月期業績予想につきましては、現時点において変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年5月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	366,233	308,125
受取手形	54,055	53,344
完成工事未収入金	188,305	204,665
売掛金	12,643	2,224
販売用不動産	1,769	1,812
未成工事支出金	63,412	56,176
原材料及び貯蔵品	23,097	21,083
その他	32,837	44,739
貸倒引当金	△3,558	△4,653
流動資産合計	738,796	687,519
固定資産		
有形固定資産	630,954	627,892
無形固定資産	66	66
投資その他の資産		
投資有価証券	338,426	346,575
その他	106,178	114,177
貸倒引当金	△8,097	△10,297
投資その他の資産合計	436,507	450,455
固定資産合計	1,067,528	1,078,414
資産合計	1,806,325	1,765,933
負債の部		
流動負債		
工事未払金	237,222	177,896
買掛金	40,746	30,320
短期借入金	155,000	—
1年内返済予定の長期借入金	82,142	102,495
未払法人税等	1,781	31,943
完成工事補償引当金	48,009	49,760
その他	133,178	48,678
流動負債合計	698,080	441,094
固定負債		
長期借入金	295,269	464,189
資産除去債務	3,668	3,884
その他	108,472	108,818
固定負債合計	407,409	576,892
負債合計	1,105,490	1,017,986

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年5月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	185,012	185,012
資本剰余金	165,642	165,642
利益剰余金	287,212	329,061
自己株式	△11,904	△11,904
株主資本合計	625,962	667,811
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	74,872	80,135
評価・換算差額等合計	74,872	80,135
純資産合計	700,834	747,947
負債純資産合計	1,806,325	1,765,933

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年8月31日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)
売上高	363,657	349,797
売上原価	276,727	247,586
売上総利益	86,930	102,211
販売費及び一般管理費	83,237	79,619
営業利益	3,692	22,592
営業外収益		
不動産賃貸収入	1,106	941
有価証券利息	3,363	3,802
売電収入	—	8,468
その他	40	841
営業外収益合計	4,511	14,053
営業外費用		
支払利息	877	949
売電費用	—	1,201
減価償却費	240	5,376
貸倒引当金繰入額	—	3,245
その他	131	—
営業外費用合計	1,249	10,773
経常利益	6,954	25,872
特別利益		
違約金収入	—	43,200
特別利益合計	—	43,200
税引前四半期純利益	6,954	69,072
法人税、住民税及び事業税	3,295	31,104
法人税等調整額	122	△3,880
法人税等合計	3,418	27,223
四半期純利益	3,536	41,848

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 平成25年6月1日 至 平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	ホームメイキ ャップ事業	建築工事業	不動産事業	小計		
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	324,300	38,729	—	363,029	628	363,657
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	324,300	38,729	—	363,029	628	363,657
セグメント利益	31,322	2,827	—	34,149	168	34,317

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、F C加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	34,149
「その他」の区分の利益	168
全社費用(注)	△30,625
四半期損益計算書の営業利益	3,692

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期累計期間(自 平成26年6月1日 至 平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	ホームメイキ ャップ事業	建築工事業	不動産事業	小計		
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	291,856	57,838	—	349,694	102	349,797
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	291,856	57,838	—	349,694	102	349,797
セグメント利益又は損失(△)	44,860	7,902	—	52,763	△39	52,723

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、F C加盟店に対するコーティング材等の販売に関する事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	52,763
「その他」の区分の利益	△39
全社費用(注)	△30,131
四半期損益計算書の営業利益	22,592

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。